

進 級

動物応用科学科 1 年次

進級基準

平成 27～30 年度入学者

			1 年次配当科目		配当単位数		進級基準	履修目標	
			前期	後期	1 年次	累計			
基礎教育系	必修	講義	化学 (2) 生物学 (2) ライフサイエンスの数学 (2)	生態学 (2) 地球共生論 (2) 有機化学 (2)	12	12	8	18	
		実習 演習	スタディ・スキルズ (1) コンピュータ演習 (1)	化学実験 (1) 基礎ゼミ I (1)	4	4	2		
		外国語 A	基礎科学英語 (2)	-	2	2	-		
	選択必修	外国語 A	-	英語講読 I (2) 英作文表現 I (2) 総合・実用英語 I (2)	6	6	-	2	
	選択	講義	世界文化史 (2) 法律学・政治学 (2) 現代社会学 (2) 自然科学史 (2) 生物学入門 (2) 化学入門 (2) ライフサイエンスの物理学 (2) 心理学 (2)	情報処理論 (2) 経済学 (2) 生命・環境倫理学 (2)	22	22	-	※12	
		演習	基礎体育 (2)		2	2			
		外国語 B	中国語 I (2) ドイツ語 I (2) スペイン語 I (2)	中国語 II (2) ドイツ語 II (2) スペイン語 II (2)	12	12			
	専門共通系	必修	講義	動物応用科学概論 I (2) 細胞生物学 (2) 動物機能解剖学 I (2) 動物関連法規 (2)	動物応用科学概論 II (2) 遺伝生物学 (2) 動物機能解剖学 II (1) 動物生理学 I (2)	15	15	9	17
			実習演習	動物応用科学実習 (1)	動物機能解剖学実習 (1)	2	2	1	
		選択	講義	-	基礎動物保健学概論 (1)	1	1	-	
実習演習			-	-	0	0	-		
合計 30 単位以上。ただし、上記の区分ごとにそれぞれ単位を修得しなければならない。									

() 内は単位数

【履修目標】

- ・ 必修科目は、全て修得すること。
- ・ 選択必修科目の中から後期 2 単位修得すること。
- ・ 基礎教育系選択科目の中から 10～12 単位修得すること。
- ・ 選択科目のうち、情報処理論は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員（任用資格）の資格取得のため必要となるので、資格取得希望者は、必ず修得すること。資格取得についての履修要件は、「V. 資格取得に必要な科目の履修方法」を参照すること。

進 級

動物応用科学科 2 年次 進級基準

平成 27～30 年度入学者

			2 年次配当科目		配当単位数		進級基準	履修目標
			前期	後期	2 年次	2 年次までの累計		
基礎教育系	必修	講義	-	-	0	12	10	19
		実習 演習	基礎ゼミⅡ (1)	-	1	5	3	
		外国語 A	-	-	0	2	-	
	選択必修	外国語 A	英語講読Ⅱ (2) 総合・実用英語Ⅱ (2)	英語講読Ⅲ (2) 英作文表現Ⅱ (2)	8	14	4	6
	選択	講義	-	-	0	22	-	12
		演習	-	-	0	2		
外国語 B		-	-	0	12			
基礎教育系科目群から 24 単位以上。ただし、上記の区分ごとにそれぞれ単位を修得しなければならない。								
専門共通系	必修	講義	分子生物学 (2) 生殖生物学 (2) 微生物学 (2) 動物発生学 (1) 動物生理学Ⅱ (1) 動物生化学 (2) 野生動物学 (2) 動物人間関係学 (2)	動物資源遺伝学 (2) 動物繁殖学 (2) 動物発生工学 (1) 食品科学 (2) 動物資源経済学 (2) 動物病態学 (2) キャリア形成論 (1) 社会調査論 (1) 応用動物行動学 (2)	29	44	34	51
		実習 演習	生物統計学演習 (1) 動物人間関係学基礎実習 (1)	動物生理学実習 (1) 動物生化学実習 (1) 動物生命科学基礎実習 (1)	5	7	5	
	選択	講義	-	-	-	1	-	-
		実習演習	◎牧場実習 (2)		2	2	-	
合計 67 単位以上。ただし、上記の区分ごとにそれぞれ単位を修得しなければならない。								

() 内は単位数

【履修目標】

- ・ 必修科目は、全て修得すること。
- ・ 選択必修科目の中から前期・後期それぞれ 2 単位、合計 4 単位修得すること。
- ・ 資格取得についての履修要件は、「V. 資格取得に必要な科目の履修方法」を参照すること。
- ◎ 牧場実習は、卒業要件に必要な専門選択実習・演習科目 (*) 7 単位に含まれる科目である。
- (*) 専門選択実習・演習科目

進 級

動物応用科学科 3 年次「動物生命科学コース」

進級基準

平成 27～30 年度入学者

				3 年次配当科目		配当単位数		進級基準	履修目標
				前期	後期	3年次	3年次までの累計		
基礎教育系	必修	講義	-	-	0	12	12	進級基準の単位を修得すること	
		実習 演習	-	-	0	5	5		
		外国語 A	-	-	0	2	2		
	選択必修	外国語 A	-	-	0	14	6		
	選択	講義	-	-	0	22	12		
		演習	-	-	0	2			
外国語 B		-	-	0	12				
計							37		
専門共通系・動物生命科学コース	必修	講義	動物栄養学 (2) 動物衛生学 (2) 動物福祉論 (2)	-	6	50	43	59	
		実習 演習	専門ゼミ (2)		2	9	7		
	選択	講義	▽動物分子生殖科学 (2) ▽食品機能学 (2) ▼動物遺伝・育種学 (2) ▼動物遺伝子工学 (2) ▼細胞培養工学 (2) ▼動物分子免疫学 (2) ▼実験動物学 (2) ▼動物トキシコロジー I (2)	▽動物飼養学 (2) ▽家畜管理学 (2) ▽進化・集団遺伝学 (2) ▼分子細胞生物学 (2) ▼動物受精卵移植論 (2) ▼微生物機能科学 (2) ▼食品製造学 (2) ▼機器分析化学 (1) ▼動物トキシコロジー II (2)	33	34	6	卒業までに、22 単位以上 (下記の実習演習含む)	
		実習 演習	◎インターンシップ (2) ○動物遺伝育種学実習 (1) ○動物繁殖学実習 (1) ○実験動物学実習 (1)		10	12			卒業までに 7 単位以上
計							93		

() 内は単位数

- ▽ 「専門共通系」科目群選択講義科目
- ◎ 「専門共通系」科目群選択実習科目
- ▼ 「動物生命科学コース」科目群選択講義科目
- 「動物生命科学コース」科目群選択実習・演習科目

【履修目標】

- ・ 必修科目は、全て修得すること。
 - ・ 専門選択科目は、卒業までに「▽◎専門共通系」科目群と「▼○動物生命科学コース」科目群から、合計 22 単位以上を修得すること。【▽◎+▼○≥22 単位】
 - ・ ただし、「◎専門共通系」科目群選択実習科目と「○動物生命科学コース」科目群選択実習・演習科目から、卒業までに 7 単位以上を修得すること。【◎+○≥7 単位】
- なお、他コースの実習・演習科目に限り 2 単位まで進級基準・卒業要件に含めることができる。これ以外は、自由科目扱いとなり、進級基準・卒業要件に含まれない。
- ・ 資格取得についての履修要件は、「V.資格取得に必要な科目の履修方法」を参照すること。

進 級

動物応用科学科 3 年次「動物人間関係学コース」

進級基準

平成 27～30 年度入学者

			3 年次配当科目		配当単位数		進級基準	履修目標
			前期	後期	3 年次	3 年次までの累計		
基礎教育系	必修	講義	-	-	0	12	12	進級基準の単位を修得すること
		実習 演習	-	-	0	5	5	
		外国語 A	-	-	0	2	2	
	選択必修	外国語 A	-	-	0	14	6	
	選択	講義	-	-	0	22	12	
		演習	-	-	0	2		
	外国語 B	-	-	0	12			
計							37	
専門共通系・動物人間関係学コース	必修	講義	動物栄養学 (2) 動物衛生学 (2) 動物福祉論 (2)	-	6	50	43	59
		実習 演習	専門ゼミ (2)		2	9	7	
	選択	講義	▽動物分子生殖科学 (2) ▽食品機能学 (2) ▲動物行動神経科学 (2) ▲動物健康管理学 (2) ▲犬学・猫学 (2) ▲馬学 (2) ▲医学概論 (2) ▲動物行動生態学 (2) ▲野生動物管理学 (2)	▽動物飼養学 (2) ▽家畜管理学 (2) ▽進化・集団遺伝学 (2) ▲動物行動治療学 (2) ▲保全生態学 (2) ▲生物分類学・動物園概論 (2)	30	31	6	卒業までに、22 単位以上 (下記の実習演習含む)
		実習 演習	◎インターンシップ (2)		11	13		
計							93	

() 内は単位数

- ▽ 「専門共通系」科目群選択講義科目
- ◎ 「専門共通系」科目群選択実習科目
- ▲ 「動物人間関係学コース」科目群選択講義科目
- 「動物人間関係学コース」科目群選択実習・演習科目

【履修目標】

- ・ 必修科目は、全て修得すること。
 - ・ 専門選択科目は、卒業までに「▽◎専門共通系」科目群と「▲●動物人間関係学コース」科目群から、合計 22 単位以上を修得すること。【▽◎+▲●≥22 単位】
 - ・ ただし、「◎専門共通系」科目群選択実習科目と「●動物人間関係学コース」科目群選択実習・演習科目から、卒業までに 7 単位以上を修得すること。【◎+●≥7 単位】
- なお、他コースの実習・演習科目に限り 2 単位まで進級基準・卒業要件に含めることができる。これ以外は、自由科目扱いとなり、進級基準・卒業要件に含まれない。
- 資格取得についての履修要件は、「V.資格取得に必要な科目の履修方法」を参照すること。

卒 業

動物応用科学科 4 年次「動物生命科学コース」

卒業要件

平成 27～30 年度入学者

			4 年次担当科目		配当単位数		卒業要件
			前期	後期	4 年次	4 年次までの累計	
基礎教育系	必修	講義	-	-	0	12	19
		実習 演習	-	-	0	5	
		外国語 A	-	-	0	2	
	選択 必修	外国語 A	-	-	0	14	6
	選択	講義	-	-	0	22	12
		実習 演習	-	-	0	2	
外国語 B		-	-	0	12		
計							37
専門共通系・動物生命科学コース	必修	講義	-	-	0	50	65
		実習 演習	-	卒業論文 (6)	6	15	
	選択	講義	▽公衆衛生学 (2) ▽人と動物の共通感染症 (2) ▽動物薬理学 (2) ▼動物生殖制御論 (2) ▼食品衛生学 (2)	-	10	44	22 単位以上 (下記の実習・演習含む)
		実習 演習	☆科学の伝達 (2) ◎動物栄養学実習 (1) ◎動物衛生学実習 (1) ○家畜人工授精特別実習 (1)	-	5	17	7
計							87
合計							124

() 内は単位数

- ▽ 「専門共通系」科目群選択講義科目
- ◎ 「専門共通系」科目群選択実習科目
- ▼ 「動物生命科学コース」科目群選択講義科目
- 「動物生命科学コース」科目群選択実習・演習科目
- ☆ 「専門共通系」科目群科学の伝達

【履修目標】

- ・ 必修科目は、全て修得すること。
- ・ 選択科目は、卒業までに「▽◎☆専門共通系」科目群と「▼○動物生命科学コース」科目群から、合計 22 単位以上を修得すること。【▽◎☆+▼○≥22 単位】
- ・ ただし、「◎専門共通系科目群」選択実習科目と「○動物生命科学コース科目群」選択実習・演習科目から、卒業までに 7 単位以上を修得すること。【◎+○+☆≥7 単位】
なお、他コースの実習・演習科目に限り、2 単位まで進級基準・卒業要件に含めることができる。これ以外は、自由科目扱いとなり、進級基準・卒業要件に含まれない。
- ・ 資格取得についての履修要件は、「V.資格取得に必要な科目の履修方法」を参照すること。

卒 業

動物応用科学科 4 年次「動物人間関係学コース」

卒業要件

平成 27～30 年度入学者

			4 年次配当科目		配置単位数		卒業要件
			前期	後期	4 年次	4 年次までの累計	
基礎教育系	必修	講義	-	-	0	12	19
		実習 演習	-	-	0	5	
		外国語 A	-	-	0	2	
	選択必修	外国語 A	-	-	0	14	6
	選択	講義	-	-	0	22	12
		実習 演習	-	-	0	2	
		外国語 B	-	-	0	12	
計						37	
専門共通系・動物人間関係学コース	必修	講義	-	-	0	50	65
		実習 演習	-	卒業論文 (6)	6	15	
	選択	講義	▽公衆衛生学 (2) ▽人と動物の共通感染症 (2) ▽動物薬理学 (2)	-	6	37	22 単位以上 (下記の実習・演習含む)
		実習 演習	☆科学の伝達 (2) ◎動物栄養学実習 (1) ◎動物衛生学実習 (1) ●動物発達行動学実習 (1)	-	5	18	
	計						87
合計						124	

() 内は単位数

- ▽ 「専門共通系」科目群選択講義科目
- ◎ 「専門共通系」科目群選択実習科目
- ▲ 「動物人間関係学コース」科目群選択講義科目
- 「動物人間関係学コース」科目群選択実習・演習科目
- ☆ 「専門共通系」科目群科学の伝達

【履修目標】

- ・ 必修科目は、全て修得すること。
 - ・ 選択科目は、卒業までに「▽◎☆専門共通系」科目群と「▲●動物人間関係学コース」科目群から、合計 22 単位以上を修得すること。【▽◎☆+▲●≥22 単位】
 - ・ ただし、「◎専門共通系科目群」選択実習科目の選択実習科目と「●動物人間関係学コース」科目群選択実習・演習科目から、卒業までに 7 単位以上を修得すること。【◎+●+☆≥7 単位】
- なお、他コースの実習・演習科目に限り、2 単位まで進級基準・卒業要件に含めることができる。これ以外は、自由科目扱いとなり、進級基準・卒業要件に含まれない。
- ・ 資格取得についての履修要件は、「V.資格取得に必要な科目の履修方法」を参照すること。